

◇◇ <時差にまつわる練習問題> No. 2 ◇◇

◇次の2つの地点の時差は何時間か求めなさい。 ※「サマータイム」は考えなくて良いこととします。

- (1) カイロ(エジプト・東経 30 度)とシドニー(オーストラリア・東経 150 度)
 $150 - 30 = 120 \quad 120 \div 15 = 8$ (8時間)
 ◇東経どうしだね(△▽△)
- (2) 東京(日本・東経 135 度)とハワイ(アメリカ・西経 150 度)
 $135 + 150 = 285 \quad 285 \div 15 = 19$ (19時間)
 ◇東経と西経だね(△▽△)
- (3) リオデジャネイロ(ブラジル・西経 45 度)とワシントン(アメリカ・西経 75 度)
 $75 - 45 = 30 \quad 30 \div 15 = 2$ (2時間)
- (4) シカゴ(アメリカ・西経 90 度)とロンドン(イギリス・0 度)
 $(90 - 0 = 90) \quad 90 \div 15 = 6$ (6時間)
- (5) オタワ(カナダ・西経 75 度)とシヤンハイ(中国・東経 120 度)
 $75 + 120 = 195 \quad 195 \div 15 = 13$ (13時間)

◇次の問題に答えなさい。 ※「サマータイム」は考えなくて良いこととします。 ←興味ある人は先生に聞いてみて～♪

- (1) 東京(日本・東経 135 度)とキングストン(ジャマイカ)の時差は 14 時間である。キングストンは西経何度か求めよ。
 時差が 14 時間ということは、 $15(\leftarrow \text{時差 1 時間あたりの経度}) \times 14 = 210$ ←東京とキングストンの経度の「差」
 $210 - 135 = 75$ ←これがキングストンの経度。 (西経 75度)
 東経と西経だから足して $135 + 75 = 210$ (←2 地点の経度差)で計算が合うよね♪
- (2) 東京(日本・東経 135 度)が 5 月 20 日の午前 6 時のとき、ロンドン(イギリス・0 度)は何月何日の何時か求めよ。
 $(135 - 0 = 135)$ ← ①まず、経度差
 $135 \div 15 = 9$ ← ②そこから「時差」 (5月19日の午後9時)
 ③東京から見てロンドンは「西」なので、時計の針を 9 時間戻す!
- (3) ローマ(イタリア・東経 15 度)が 5 月 20 日の午前 11 時のとき、東京(日本・東経 135 度)は何月何日の何時か求めよ。
 $135 - 15 = 120$ ← ①経度差
 $120 \div 15 = 8$ ← ②時差 (5月20日の午後7時)
 ③ローマから見て東京は「東」なので、時計の針を 8 時間進める!
- (4) バンコク(タイ・東経 105 度)が 5 月 20 日の午前 2 時のとき、ラスベガス(アメリカ・西経 120 度)は何月何日の何時か求めよ。
 $105 + 120 = 225$ ← ①経度差
 $225 \div 15 = 15$ ← ②時差 (5月19日の午前11時)
 ③バンコクから見てラスベガスは「西」なので、時計の針を 15 時間戻す!
- (5) トロント(カナダ・西経 75 度)が 5 月 20 日の午後 7 時のとき、東京(日本・東経 135 度)は何月何日の何時か求めよ。
 $75 + 135 = 210$ ← ①経度差
 $210 \div 15 = 14$ ← ②時差 (5月21日の午前9時)
 ③トロントから見て東京は「東」なので、時計の針を 14 時間進める! …コツつかめたかな(△▽△)

◇時差の問題、慣れたかな? こっちに行くとき東、こっちに行くとき西、というのは世界地図上でぜひ確認してみてくださいね! 地図上であちこち旅行(?)楽しいよ♪

慣れた人は、「日付変更線を越える」という ◇◇ ふたばプリント ◇◇ 問題もぜひ探して挑戦してみてください～(△▽△)